



リクルート「ワークス大卒求人倍率調査（2009年卒）」

# 大卒求人総数は95万人と過去最高を更新

求人倍率は2.14倍と昨年同水準

## 全体傾向

### 空前の売り手市場続く

来春2009年3月卒業予定の大学生・大学院生を対象とする、全国の民間企業の求人総数は94.8万人と昨年よりも1.5万人増加(+1.7%)となり、昨年に引き続き、調査開始以来最高水準を更新した。景況感により企業収益の好調さの影響によるもののほか、中途採用を含めた人材確保難から採用意欲が継続されている背景がうかがえる。ここ数年、企

業側の大学求人総数は右肩上がりの傾向が見られるが、景気回復の影響のほか、団塊世代の大量退職による人材確保や、氷河期時代に新卒採用を絞り込んだ結果、年齢構成のゆがみを補正するためなど、多様な状況が影響していると推測される。

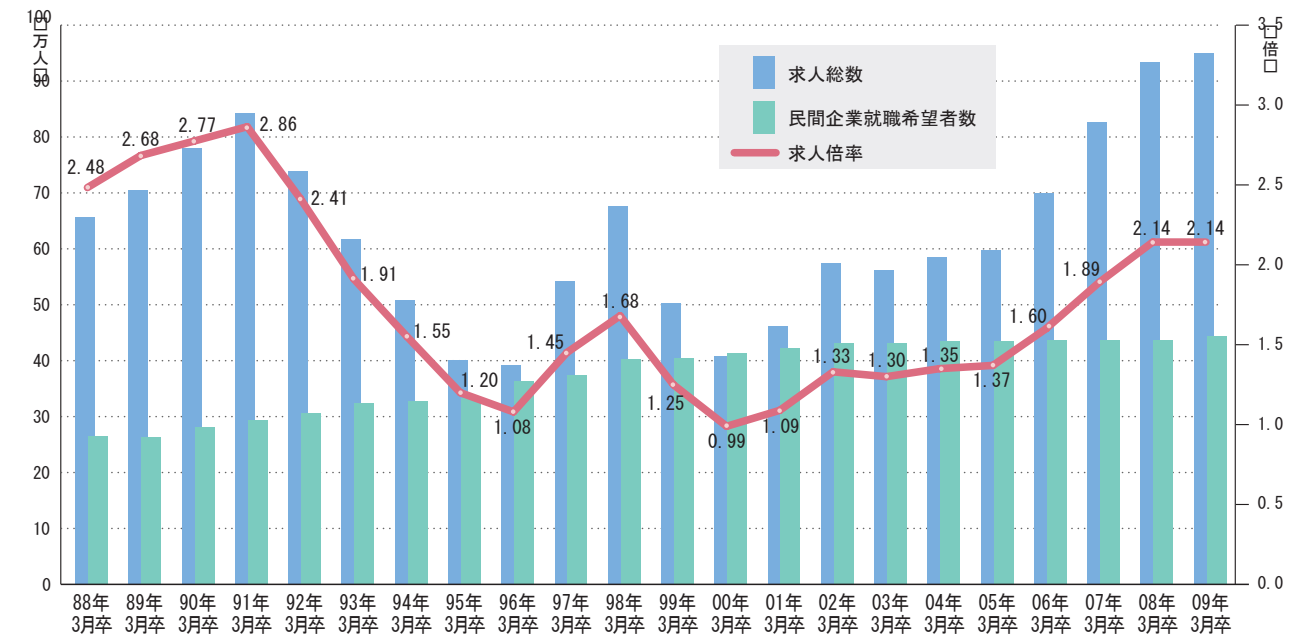
一方、学生の民間企業就職希望者数は、昨年よりも0.7万人増加(+1.5%)した44.3万人となった。

よって、需給バランスである求人倍率(求人総数÷民間企業就職希望者数)は、昨年と同水準の2.14倍とな

った。まさしく売り手市場であるが、企業側は求人を増やしたからといって、採用基準を下げている訳ではない。

しかしそれは、学生も同じである。大手企業の採用数が増えていることから、学生の大手志向が見られる。これは、後ほど従業員規模別で見るとするが、より自分にあった企業を探すべく、長期間就職活動を行う学生も見られる。まさしく、企業・学生相互にて、“センシャ(選社・選者)”しているのである。

図表1 求人総数・民間企業就職希望者数・大卒求人倍率の推移



	88年3月卒	89年3月卒	90年3月卒	91年3月卒	92年3月卒	93年3月卒	94年3月卒	95年3月卒	96年3月卒	97年3月卒	98年3月卒
求人倍率	2.48倍	2.68倍	2.77倍	2.86倍	2.41倍	1.91倍	1.55倍	1.20倍	1.08倍	1.45倍	1.68倍
求人総数	655,700	704,100	779,200	840,400	738,100	617,000	507,200	400,400	390,700	541,500	675,200
対前年増減数	+47,700	+48,400	+75,100	+61,200	▲102,300	▲121,100	▲109,800	▲106,800	▲9,700	+150,800	+133,700
対前年増減率	+7.8%	+7.4%	+10.7%	+7.9%	▲12.2%	▲16.4%	▲17.8%	▲21.1%	▲2.4%	+38.6%	+24.7%
民間企業就職希望者数	264,600	262,800	281,000	293,800	306,200	323,200	326,500	332,800	362,200	373,800	403,000
対前年増減数	+5,100	▲1,800	+18,200	+12,800	+12,400	+17,000	+3,300	+6,300	+29,400	+11,600	+29,200
対前年増減率	+2.0%	▲0.7%	+6.9%	+4.6%	+4.2%	+5.6%	+1.0%	+1.9%	+8.8%	+3.2%	+7.8%

	99年3月卒	00年3月卒	01年3月卒	02年3月卒	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒
求人倍率	1.25倍	0.99倍	1.09倍	1.33倍	1.30倍	1.35倍	1.37倍	1.60倍	1.89倍	2.14倍	2.14倍
求人総数	502,400	407,800	461,600	573,400	560,100	583,600	596,900	698,800	825,000	932,600	948,000
対前年増減数	▲172,800	▲94,600	+53,800	+111,800	▲13,300	+23,500	+13,300	+101,900	+126,200	+107,600	+15,400
対前年増減率	▲25.6%	▲18.8%	+13.2%	+24.2%	▲2.3%	+4.2%	+2.3%	+17.1%	+18.1%	+13.0%	+1.7%
民間企業就職希望者数	403,500	412,300	422,000	430,200	430,800	433,700	435,100	436,300	436,900	436,500	443,100
対前年増減数	+500	+8,800	+9,700	+8,200	+600	+2,900	+1,400	+1,200	+600	▲400	+6,600
対前年増減率	+0.1%	+2.2%	+2.4%	+1.9%	+0.1%	+0.7%	+0.3%	+0.3%	+0.1%	▲0.1%	+1.5%

## 従業員規模別の求人倍率

### より大手志向強まる

ここで、従業員規模別、業種別にて、企業と学生の状況を見てみたい。まず、従業員規模別であるが、従業員1000人未満・1000人以上企業と

で見てみる。

従業員1000人未満企業の求人総数は73.9万人と、昨年より1.0万人の増加(+1.3%)。学生の民間企業就職希望者数は17.4万人と昨年とほぼ同水準。よって求人倍率は昨年より0.04ポイント上昇の4.26倍となり、採用環境は厳しい状況となっている。

一方、従業員1000人以上企業の求人総数は20.9万人と、昨年より0.6万人の増加(+2.9%)。学生の民間企業就職希望者数は26.9万人となり、昨年より0.6万人の増加(+2.3%)となり、求人倍率は0.77倍と、学生にとっては就職環境が厳しい状況となっている。

業種別の求人倍率

金融、サービス・情報業は狭き門

次に業種別を製造業、流通業、金融業、サービス・情報業の4分類で見てみる。

製造業の求人総数は43.8万人と、昨年より1.6万人の増加(+3.8%)。民間企業就職希望者数は16.6万人と、昨年より0.6万人の増加(+3.8%)となり、

求人倍率は、昨年同水準の2.64倍となっている。

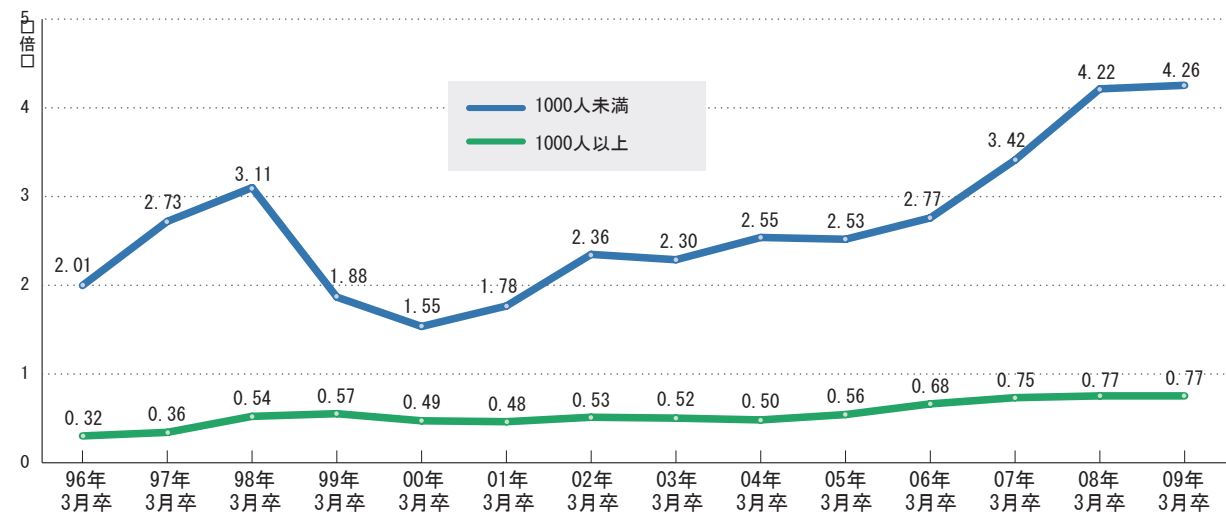
流通業の求人総数は36.1万人と、昨年より0.3万人の減少(-0.7%)。民間企業就職希望者数は5.1万人と、昨年より微増(+700人、+1.4%)。求人倍率は7.15倍と昨年より0.16ポイント下降しているが、高い倍率であるため、企業にとっては厳しい採用環境となっている。

金融業の求人総数は1.8万人と、

昨年より800人減少(-4.2%)。民間企業就職希望者数は5.2万人と昨年より0.4万人増加(+9.2%)。求人倍率は0.35倍と、学生にとって厳しい就職環境となっている。

サービス・情報業の求人総数は13.1万人と、昨年より0.3万人の増加(+2.4%)。民間企業就職希望者数は17.4万人と、昨年より0.5万人の減少(-2.6%)。求人倍率は0.75倍と学生にとって金融業同様、厳しい就職環

図表2 従業員規模別求人総数及び民間企業就職希望者数、大卒求人倍率の推移



【1000人未満】	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒
求人総数(A)	434,700	456,100	454,000	534,200	638,300	729,800	739,300
対前年増減数	▲11,200	+21,400	▲2,100	+80,200	+104,100	+91,500	+9,500
対前年増減率	▲2.5%	+4.9%	▲0.5%	+17.7%	+19.5%	+14.3%	+1.3%
民間企業就職希望者数(B)	188,800	179,100	179,300	192,900	186,400	173,100	173,700
対前年増減数	▲400	▲9,700	+200	+13,600	▲6,500	▲13,300	+600
対前年増減率	▲0.2%	▲5.1%	+0.1%	+7.6%	▲3.4%	▲7.1%	+0.3%
過不足数(B-A)	▲245,900	▲277,000	▲274,700	▲341,300	▲451,900	▲556,700	▲565,600

【1000人以上】	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒
求人総数(A)	125,300	127,500	142,900	164,600	186,700	202,800	208,700
対前年増減数	▲2,200	+2,200	+15,400	+21,700	+22,100	+16,100	+5,900
対前年増減率	▲1.7%	+1.8%	+12.1%	+15.2%	+13.4%	+8.6%	+2.9%
民間企業就職希望者数(B)	242,000	254,600	255,800	243,400	250,500	263,400	269,400
対前年増減数	+1,000	+12,600	+1,200	▲12,400	+7,100	+12,900	+6,000
対前年増減率	+0.4%	+5.2%	+0.5%	▲4.8%	+2.9%	+5.1%	+2.3%
過不足数(B-A)	+116,700	+127,100	+112,900	+78,800	+63,800	+60,600	+60,700

● 調査概要 ●

調査目的: 2009年3月卒業予定の大学生および大学院生に対する、全国の民間企業の採用予定数から、大卒者の求人倍率を算出し、新卒採用における求人動向の需給バランスを明らかにする。

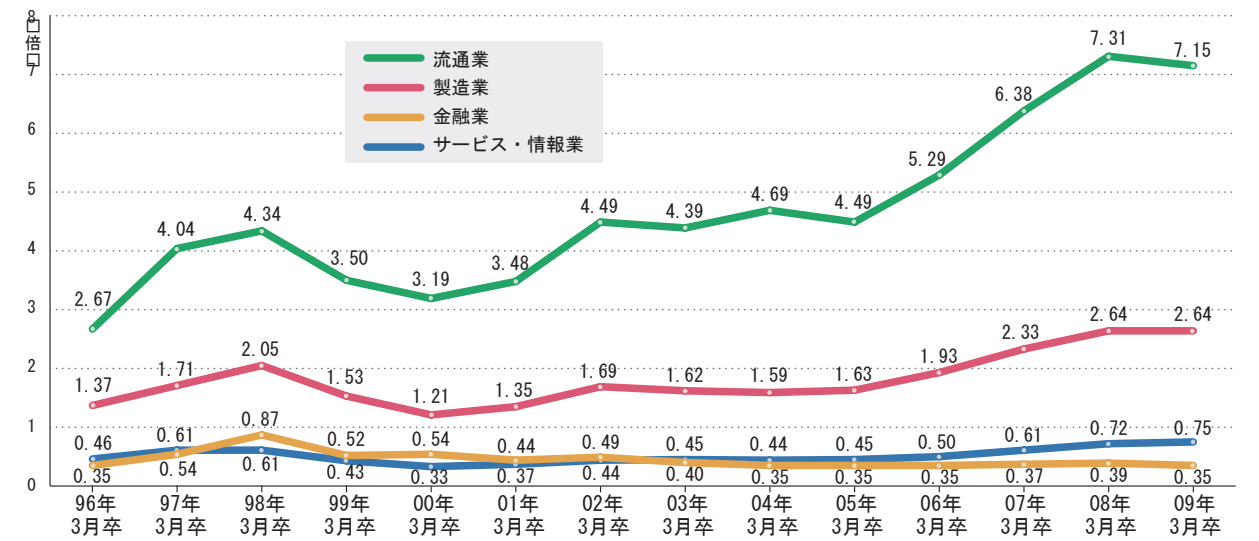
【企業調査】  
調査対象: 従業員規模5人以上の全国の民間企業7,447社

調査項目: 2009年3月卒業予定者の採用予定数  
調査期間: 2008年2月14日~3月12日  
回収社数: 4,347社

【学生調査】  
調査対象: 2009年3月卒業予定の大学生・大学院生  
2009年3月卒業予定者を対象とした「就職ブランド調査2008」の結果をもとに、従業員規模別、業種別の就職希望者数を推計した。

集計サンプル数: 大学生 14,633人  
大学院生 2,520人  
調査期間: 2008年2月14日~3月3日

図表3 求人総数及び民間企業就職希望者数



境となっている。

就職氷河期のころ、企業研究や自己分析などを行わなければ内定を得ることが難しく、厳しい就職環境であった時代の学生と比べ、売り手市場となった現状では、企業研究や自己分析などを行うことに、ややゆるさげでいるようにも思える。

人事担当者から、企業研究や自己分析が不十分となっているため、ミスマッチを起こしていると感じているとの声も聞かれる。そのミスマッチの影響も一因であると思われるが、入社1・2年と間もなくして会社を去る傾向が見られる。

このことを問題視している企業も少なくない。入社前後でのギャップなどで退職するケースも見られるため、採用時に双方理解の重要性を実感しており、入社後、コミュニケーションを強化するための施策を取っている企業も見られる。

学生も、就職に対しての心構えはもちろんのこと、企業研究を通

【製造業】	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒
求人総数(A)	233,700	248,400	265,300	310,100	371,300	421,600	437,500
対前年増減数	▲24,300	+14,700	+16,900	+44,800	+61,200	+50,300	+15,900
対前年増減率	▲9.4%	+6.3%	+6.8%	+16.9%	+19.7%	+13.5%	+3.8%
民間企業就職希望者数(B)	144,400	155,800	162,400	160,600	159,200	159,800	165,900
対前年増減数	▲8,000	+11,400	+6,600	▲1,800	▲1,400	+600	+6,100
対前年増減率	▲5.2%	+7.9%	+4.2%	▲1.1%	▲0.9%	+0.4%	+3.8%
過不足数(B-A)	▲89,300	▲92,600	▲102,900	▲149,500	▲212,100	▲261,800	▲271,600

【流通業】	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒
求人総数(A)	222,000	238,700	237,100	282,900	327,500	363,800	361,100
対前年増減数	+10,300	+16,700	▲1,600	+45,800	+44,600	+36,300	▲2,700
対前年増減率	+4.9%	+7.5%	▲0.7%	+19.3%	+15.8%	+11.1%	▲0.7%
民間企業就職希望者数(B)	50,600	50,900	52,800	53,500	51,300	49,800	50,500
対前年増減数	+3,400	+300	+1,900	+700	▲2,200	▲1,500	+700
対前年増減率	+7.2%	+0.6%	+3.7%	+1.3%	▲4.1%	▲2.9%	+1.4%
過不足数(B-A)	▲171,400	▲187,800	▲184,300	▲229,400	▲276,200	▲314,000	▲310,600

【金融業】	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒
求人総数(A)	14,400	11,600	12,000	13,500	17,100	18,900	18,100
対前年増減数	▲2,100	▲2,800	+400	+1,500	+3,600	+1,800	▲800
対前年増減率	▲12.7%	▲19.4%	+3.4%	+12.5%	+26.7%	+10.5%	▲4.2%
民間企業就職希望者数(B)	36,300	33,300	34,600	38,400	46,400	47,900	52,300
対前年増減数	+2,900	▲3,000	+1,300	+3,800	+8,000	+1,500	+4,400
対前年増減率	+8.7%	▲8.3%	+3.9%	+11.0%	+20.8%	+3.2%	+9.2%
過不足数(B-A)	+21,900	+21,700	+22,600	+24,900	+29,300	+29,000	+34,200

【サービス・情報業】	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒
求人総数(A)	90,000	85,000	82,500	92,300	109,100	128,300	131,400
対前年増減数	+2,800	▲5,000	▲2,500	+9,800	+16,800	+19,200	+3,100
対前年増減率	+3.2%	▲5.6%	▲2.9%	+11.9%	+18.2%	+17.6%	+2.4%
民間企業就職希望者数(B)	199,500	193,700	185,300	183,800	180,000	179,000	174,300
対前年増減数	+2,200	▲5,800	▲8,400	▲1,500	▲3,800	▲1,000	▲4,700
対前年増減率	+1.1%	▲2.9%	▲4.3%	▲0.8%	▲2.1%	▲0.6%	▲2.6%
過不足数(B-A)	+109,500	+108,700	+102,800	+91,500	+70,900	+50,700	+42,900

して、今後自分が働くイメージと相違しないかを、確認すべきではないだろうかと思う。

(リクルートワークス研究所 研究員 徳永英子)